

一般社団法人埼玉県トラック協会
会長 鳥居伸雄様

東日本高速道路株式会社 関東支社
道路管制センター長 齋藤辰哉

交通事故防止に向けた広報啓発のお願い

拝啓 晩秋の候、貴協会におかれましてはますます御盛栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、高速道路等における交通安全対策につきましては、日頃よりご協力をいただいているところですが、弊社関東支社管内の高速道路等においては、昨年や一昨年に比べて年当初から交通死亡事故が多発しており、一向に交通死亡事故の発生に歯止めがかからない状況になっております。特に大型車が関係する事故は死傷事故や長時間の通行止めを伴うなど、社会的にも影響のある事故に発展する可能性があります。

つきましては、貴協会所属会員の皆様へより一層の安全運転に心掛けていただくとともに、下記の広報啓発にご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

【死亡事故発生状況】NEXCO 東日本関東支社調べ

◆H28年度以降、死亡事故が増加。10月31日時点で昨年比+2件（1名）。

	死亡事故件数	死亡者数
平成28年	14件	16名
平成29年	22件	24名
平成30年	24件（※10月末時点）	25名（※10月末時点）

【広報啓発内容】

1. 休憩施設で早めの休憩をお願いします。

特に長時間、走行する必要がある場合は、居眠り運転防止、疲労回復を優先した適切な運行管理をお願いします。（居眠り運転防止）

2. 夜間時は原則ハイビーム（上向きライト）で走行してください。

ハイビームは、故障車などをいち早く発見し危険を回避することができます。ただし先行車や対向車がいる場合には、適宜、ロービーム（下向きライト）に切り替えての走行をお願いします。（路上障害物等（事故車等）の早期発見、危険回避）

3. 運転中は十分な車間距離をとり、わき見をせずに前方に集中してください。

事故の多くは車間距離が短いことや前方不注視が原因で発生しています。
100 km/h の速度では1秒間に約28mも進みます。わき見運転は追突事故の原因となりますので安全走行をお願いします。（わき見運転、漫然運転防止）

4. 冬用タイヤの装着やチェーン携行をお願いします。

冬になると出発地は晴れていても目的地や通過地点で雪が降っていることもあります。冬の高速道路では、スタッドレスタイヤ等の冬用タイヤの装着とタイヤチェーンを携行していただくとともに、雪道でのスピードは控え、安全運転をお願いします。

以上